

中土佐町社協だより

ふくしの

チカラ

夏号

2025年7月



モルック

町内で新たな同好会が誕生しています。
頭を使って、体を動かし、笑いあふれる
スポーツです。多世代のつながりもでき
地域の輪の広がりに一役買っているよう
ですよ😊

(関連記事 P2)

Contents

- ▶ 【特集】シリーズ社協のことおしえて⑤「地域福祉課 相談支援 編」・・・・・・・・・・ P2-3
- ▶ つどい処防災新聞（令和7年度第2回）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P4
- ▶ 赤い羽根共同募金助成事業「配分団体追加募集のお知らせ」・・・・・・・・・・ P5
- ▶ 令和6年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会 事業・決算報告 ・・・・・・・・ P6
- ▶ 評議員・理事・監事新体制のご紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
- ▶ 職員募集/福祉用具貸出について/ご寄付のお礼等 ・・・・・・・・・・・・・・ P8



地域福祉課相談支援チームは誰もが安心して暮らしていけるように、困りごとについて一緒に考え、解決に向けたお手伝いをするための相談窓口です。
生活している中でおこる悩みや不安は形も数人もそれぞれ。お金のこと、借金のこと、介護のこと、家族のこと、自分だけではなく友人やご近所さんの「ちょっと心配ながよね」と思ったことなど、さまざまな相談をお受けしています。

こんな事業があります

生活困窮者自立相談支援事業

不安や悩みを一緒に確認・整理し、問題解決の支援をします。その人らしい自立した生活ができるようお手伝いします。

- ・就労支援
- ・お金のやりくりのお手伝い
- ・役場やハローワークなど相談窓口への同行
- ・など

日常生活自立支援事業

認知症や障害などにより福祉サービスの利用や金銭管理について一人で判断することが難しい場合に、安心して日常生活が送れるようにお手伝いします。

- ・福祉サービスの利用のお手伝い
- ・預貯金の出し入れ
- ・支払いのお手伝い
- ・大事な書類の管理

生活福祉資金貸付制度

生活福祉資金貸付制度は、生活の再建のための費用など必要な資金の貸付と必要に応じた援助指導を行うことにより、経済的自立や生活意欲を高め、安定した暮らしを支援するための制度です。

相談の流れ

まずは

ご相談ください

電話相談・窓口相談、どちらでもOK！
どんな困りごとや不安があるのか、ゆつくりとお話を伺います。

そして

一緒に考えます

あなたのお悩みや思いに合った方法は何かを一緒に考えていきます。
また、必要に応じて関係機関や行政と連携し、解決につなげます。

さらに

ワンチームで応援します

少しでも安心して暮らせるように、お手伝いします。



職員紹介



地域福祉課 主任
横矢 英司

4月から地域福祉課に異動になりました。
地域の皆さんのために頼られるよう頑張りますのでよろしくお願いします。



地域福祉課 相談支援員
青井 千穂

いつでもどんな事でも相談してもらええる相談支援員を目指して日々、勉強中です。
よろしくお願いします。

休みの日何してる？



浦ノ内に高知競馬の競走馬を引退した馬がゆつくり過ごしている牧場があります。たまに馬を見に行つて癒されています。

休みの日何してる？



日曜日はライオン公園で、モルックをしています。
上手に出来たときは、みんなが一瞬に喜んでくれて、とても楽しい時間を過ごしています。

大災害が起きることは、誰もが不安です。特に障害のある方にとって災害時の避難行動や環境の変化は、大きな負担となります。日頃からの備えが必要ですが、「何から始めたらいいのかわからない」そう感じている方は少なくありません。今回は、備えに取り組んでいる方の声を紹介します。

命を守る備え～ひとり暮らしでも安心を増やす準備～

『もし地震がきて、部屋の中で動けなくなったら…どうしよう？ それが一番怖いです』

そう話してくれたのは、一人暮らしをしているAさん。足の不自由さがあり、歩行にはゆっくりとした動作と支えが必要です。「災害が起きたら取り残されてしまうかも」という不安は、いつも心のどこかにあると言います。

そんな不安を減らすためAさんは、まわりの協力を受けながら、必要な備えを3つ取り組みました。

Aさんの備え

■その1 家具の移動と固定

あったかふれあいセンターでの玄関先避難訓練に参加し、自宅のベッドから玄関までの動線を確認して、揺れから命を守るための備えについて教えてもらいました。移動や、窓ガラスによるケガのことを考え、ベッドの位置を玄関近くの部屋に変え、強い揺れで危ないようにテレビの固定もしました。少し工夫するだけで変わります。

■その2 耐震補強

家そのものを倒れにくくした方が安全だと思い、町の耐震強度支援制度を使って壁や柱の補強工事をしました。強い揺れが起きたら怖いですが、少し安心しています。

■その2 防災バッグ

すぐに持ち出せるようにベッドの近くに置きました。避難した時に自分が絶対に必要なものだけ入れています。水は重たいので持って逃げるのに大変なので少しだけ入れています。持病が悪化したら困るので1週間分の薬とおくすり手帳も用意し、いつも持ち歩くようにしています。



速く避難できる
ように歩く練習
を始めました！

good!



赤い羽根共同募金助成事業 配分団体追加募集のお知らせ

令和 7 年度の助成を受けたい団体を追加募集します！

赤い羽根共同募金は、地域で集められた募金がさまざまな福祉活動に活用されています。「**自分のまちを良くするしくみ**」として全国で活動が行われています。

中土佐町共同募金委員会では、町内で**地域福祉の推進を図る活動**や**ボランティア活動**を行う団体へ助成を行っています。

令和 7 年度の**助成を希望する団体**は、中土佐町共同募金委員会までお気軽にお問合せください。

募集詳細

対象団体

中土佐町で見守りや生活の助けにつながる活動、いきがいや地域を盛り上げる活動を行っている団体・組織

*** 令和 7 年度中に取り組み実施できる団体に限ります**

募集期間

令和 7 年 7 月 25 日～令和 7 年 8 月 25 日まで

申請から事業報告までの流れ

申請書受付（申請理由と簡単な事業の概要、実施計画（R7.10 月～R8.3 月）の提出



配分審査委員会にて助成金決定（令和 7 年 9 月中旬頃を予定）



決定通知及び助成金交付（令和 7 年 10 月）



事業報告書提出（事業実施後）

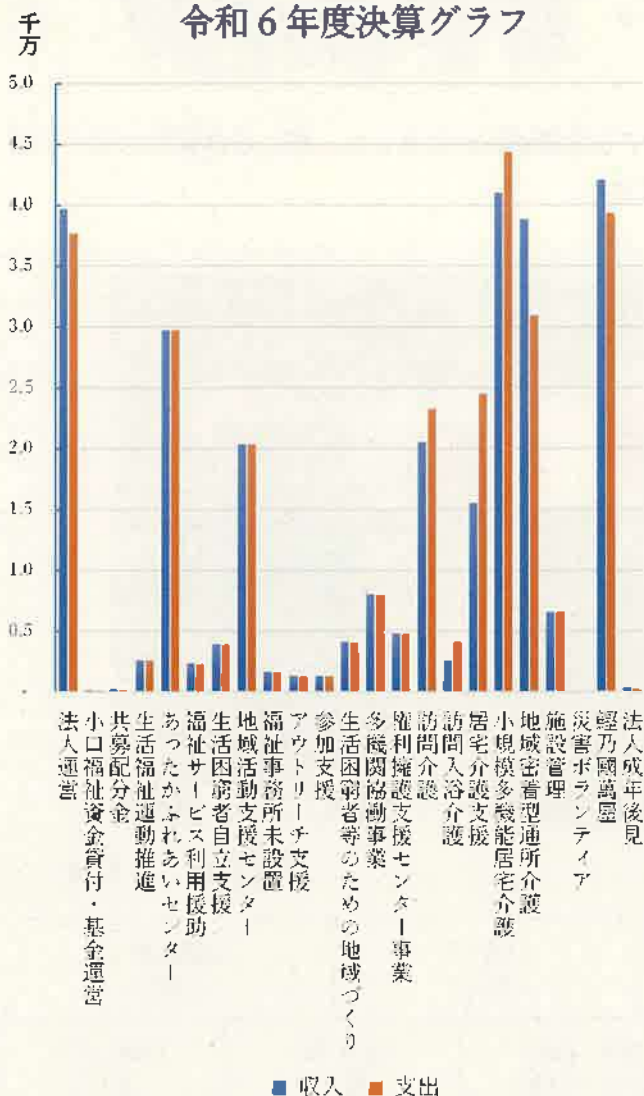
計画書・報告書の様式は事務局にあります。
お気軽にお問合せください。

問い合わせ先
中土佐町共同募金委員会
（中土佐町社会福祉協議会内）
担当：中平



令和6年度 中土佐町社協の事業・決算報告

令和6年度決算グラフ



《決算報告》

法人の1年間の経営成績は、▲3,024,386円で、令和5年度決算(1,157,314円)と比較して4,181,700円落ち込みました。これは、災害時に備えた自家発電機の設置にあたり特別積立金が発生したためマイナスになっています。

しかし、そういった特別な費用を除いた日々の活動収支は4,716,367円と黒字で、令和5年度決算の3,351,316円から1,365,051円の増加となりました。

《事業報告》

介護サービス事業においては利用者の減少による経営不振により、ここ数年は事業継続に係る「事業の在り方」について法人内でも協議・検討を重ねてきましたが、経営状況が大きく改善することはなく、令和6年度末を以て、訪問入浴介護事業所と居宅介護支援事業所を廃止することとなりました。その他の事業においても経営改善に向けて、新規利用者の獲得や人材育成・確保等に取り組んでいく必要があります。また、その要因分析をしっかりと行って持続可能な安定した経営への道筋や次の手立てを講じる必要もあります。

就労継続支援B型事業所については効率的な事業運営ができるよう、年度当初から事業見直しの準備を進め、令和7年2月末を以て弁当製造事業を廃止しました。利用者数の減少や職員人材の定着など課題はあるものの、経営面は比較的に安定した業績であり、利用者の工賃・一時金に大きく還元することができています。

令和7年1月に人材育成基本方針を制定しました。「本会の使命」「目指す職員像」を明確にし、「基本方策」「研修体系」を策定しました。全職員で共有し、人材確保・育成・定着と繋がるよう、取り組んでいきます。

これまで中土佐町第3期地域福祉計画に基づき「中土佐町版地域共生社会」の実現に向けて各施策に取り組んできました。令和6年度は中間年を迎え、今後の取り組みの方向性を見直すため中間評価を行いました。重層的支援体制整備事業が掲げる「相談支援」「参加支援」「地域づくり」の取り組みを通して、多機関・多分野との連携協働をより進め、本会の使命である「住民がともに助け合い、誰もが自分らしく、しあわせに暮らせるまちづくり」を推進します。

令和6年度の法人全体の事業活動収支(損益)状況

	収入	支出	当期活動増減差額
令和6年度	261,263,446	264,287,832	▲3,024,386
令和5年度	247,070,767	245,913,453	1,157,314
差 額	14,192,679	18,374,379	▲4,181,700

評議員・理事・監事新体制

令和7年6月25日定時評議員会をもって任期満了し改選が行われました。新たな体制でスタートを切った評議員・理事・監事の皆さまをご紹介します。



【理事5名・監事2名】

(敬称略・順不同)

後 列	山添 岳廣 (監事・新任)	吉岡 浩一 (監事・重任)	中城 守 (重任)	高橋 雅人 (重任)	
前 列	辻本 加生里 (重任)	岡村 純子 (重任・副会長)	坂井 貞嗣 (重任・会長)	山口 賢 (重任)	山岡 正治 (重任)

任期：令和7年6月25日から令和9年6月定時評議員会まで

【評議員11名】

(敬称略・順不同)

	氏 名	重任・新任
1	西岡 修一	重任
2	浪上 亜妃	重任
3	濱崎 満良	重任
4	佐野 猛敏	重任
5	濱田 和昭	重任
6	森下 卓也	重任
7	中山 隆昭	重任
8	福永 早苗	新任
9	濱田 佳孝	新任
10	古谷 高敬	新任
11	林 昭江	新任



任期：令和7年6月25日から令和11年6月定時評議員会まで

【介護職】
いちょうの丘笹場
(小規模多機能型居宅介護事業所)
ホームヘルパー
(訪問介護事業所)

【訪問・相談スタッフ】
**あったか
ふれあいセンター**

年間休日
122日

一緒に働く仲間を募集しています

【相談員・障害者支援】
つどい処
(地域活動支援センター)

**未経験者
可**

詳細はハローワークまたは
本会事務所(町民交流会
館)・各事業所までお気軽
にお問い合わせください。

中土佐町社協では福祉用具の貸し出しを行っています

在宅での日常生活が安全・円滑に行えるようにお手伝いをしています。

また、この事業は社協会費を活用し実施しています。詳しくは社協窓口へ



貸出対象者

町内に住所があり社協会員世帯の方で、次のいずれかに該当する方、又は使用者を介助する方。

- ・介護保険サービスなどの他制度が適用外の方
- ・疾病、傷病等により一時的もしくは緊急的に福祉用具が必要な方

貸出期間

車いす：原則2か月以内
電動ベッド：原則2か月以内

利用料 無料

利用方法 申請書の提出

＊たくさんのご寄付をいただきました＊

(順不同・敬称略)

＊プルタブ

木村 和世 中平 里恵子 佐々木 桂一
笹場スカッシュ

匿名希望…数名



＊切手

笹場スカッシュ



皆さま、温かいお気持ちをありがとうございました♡大切にさせていただきます

編集・発行 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会

〒789-1301 高岡郡中土佐町久礼 6584-1 TEL:0889-52-2058 FAX:0889-59-0554

HP <http://www.nakatosa-shakyo.or.jp>

＊本紙は社協会費を活用して発行しています＊

